



戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。

◆ 芦屋ユネスコ協会 創立75周年のあゆみ II ◆



このたび、芦屋ユネスコ協会の本格的活動が始まったことを報道する70年前（昭和27年）の新聞記事や写真等を、たくさんご寄贈いただくことができました。

その中には「世界の一人めざす芦屋ユネスコ学生クラブ」と題する記事等もあり、当時いかに学生クラブの活動が活発に行われていたかを知ることができました。

これまで空白に近い時代の貴重な資料を寄贈くださったのは、当時、芦屋ユネスコ学生クラブの一員として活動されており、現在も芦屋ユネスコ協会のアドバイザーとしてお力添えくださっている由里正雄様とその友人の皆様方です。

これらの資料によって、創立75周年の空白だった部分を明らかにすることができ、未来へと引き継いでいくことができます。また75周年記念誌にも反映してまいります。本当に、ありがとうございました。



～つなげよう 平和のこころ～

毎年 7月19日は



ユネスコは、世界大戦が終わった1945年、人類が二度と悲惨な戦争を繰り返さないようにとの願いを込めて「国際憲章」が採択され、1946年に創設された国際連合の専門機関です。

芦屋ユネスコ協会では、今年も7月19日（水）、JR芦屋駅周辺で午前10時からキャンペーンを実施します。ご支援・ご協力をお願いします。

みんなで考えよう  
**平和と人権**



市民センター本館・玄関横  
「優愛の鐘」

～「平和への祈りと願い」を込めて～  
**平和の鐘を鳴らそう！**

★参加費・申し込みは不要です。ご自由にご参加ください。

◆とき 2023年8月15日(火)

<式典> 11時45分～12時15分

<平和のつどい> 12時30分～14時00分

◆ところ 芦屋市民センター(業平町8-24)ほか

<式典> 市民センター本館玄関前

<平和のつどい> リードあしや(公光町5-8)

小雨  
決行

※平和のつどいに参加された先着50名様に、おにぎり・お茶をお持ち帰りいただきます。

戦後78年目の夏、そしてロシアがウクライナへの侵攻を始めて2年目の夏を迎えます。今年も8月15日(火)午前11時45分、芦屋市民センター本館の玄関前にご集合ください。みんなで、正午のサイレンに合わせて黙祷いたしましょう。そして、一人ひとりが「平和への祈りと願い」を込め、平和の鐘(優愛の鐘)を高らかに鳴らしましょう！

**ウクライナに平和が一日も早く戻りますように…**

ウクライナから日本に避難されているユリア・ボンダレンコさんは、8歳の少女(小倉桂子さん)の被爆体験を紙芝居にした作品「ケイちゃんの消えない雲」を制作、広島に原爆が投下された8月6日にSNSで世界へと発信。世界の人々に、何年たっても消えない戦争の記憶、核の恐怖を訴えたいと願っています。

今夏の「平和のつどい」では、その作者ユリア・ボンダレンコさんをお招きし、ご一緒に紙芝居を鑑賞、心を一つにして平和への願いを明日へと語り継いでまいりましょう！

**新入会員ご紹介**

ご入会ありがとうございました。大歓迎です。

★木村 明彦様



**2023年度 年会費 納入のお願い**

芦屋ユネスコ協会は、皆さんの年会費によって運営しています。また、「つなげよう 平和の心」を活動方針として、共に生きる世界を目指し、学び・行動するための多くの活動を実践しています。年会費は、総会会場でも受け付けます。また、下記口座へ振り込むこともできます。

【芦屋ユネスコ協会の銀行口座】

◆銀行名 三井住友銀行 芦屋駅前支店

◆口座番号 普通預金 3901693 ◆口座名義 芦屋ユネスコ協会 会長 山中 健